

# ひごまると学ぼう! 熊本城



ひごまる

## 長塀ってどんな建物?



長塀

長塀は熊本城で最も長い塀で、国の重要文化財です。石垣の上に長くのびるつくりになっているのが特徴です。

## 長塀の基礎情報

構造	木造
高さ	2.121m
全長	242.44m
屋根	さんかわらぶ 棧瓦葺き
外壁	城内側: 真壁漆喰仕上げ 堅羽目板張目板打 城外側: 大壁漆喰仕上げ 下見板張



長さは約242mで、九州新幹線(約200m)より長いんだよ!

## 修理の歴史

長塀は地震や風雨の災害などでたおれてしまうなど、たびたび大きな被害を受けてきました。そのたびに、こわれた部分を修理しながら、姿を保ってきました。



1953年にたおれた長塀の写真

長塀がこわれたことを国に報告する資料に掲載された写真



2015年台風被害の応急措置

台風で城外側に傾いた部分がたおれないようにひっばっている

## 熊本地震のとき、どんな被害があったの？

平成27年(2015年)の台風で、すでに一部がかたむくなどの被害を受けていた長塀は、平成28年熊本地震でさらに塀の一部がたおれてしまいました。



坪井川側からみた長塀



熊本城側からみた長塀



屋根瓦が落ちた長塀のようす

## どうやって復旧したの？

長塀は、まず全体を解体して、木材や瓦をひとつずつ調べました。つぎに、木材の傷んだ部分は新しく木をつぎ足すなどしてなおしました。そのあと、地震で曲がったり傾いたりした土台の石を建てなおし、塀をもとどおりに復旧しました。



長塀の木材を調べるようす



地震で折れた石柱をつなぎ合わせるようす



金物とコンクリートで補強した長塀

復旧の前には発掘調査を行い、地面の下を調べて昔はどんなつくりだったのかを確かめました。工事では、こわれたところをただ新しくするのではなく、できるだけ元の材料を使って元にもどす工夫をしました。さらに、地震や台風がきても塀がたおれないように、金物やコンクリートを使って目立たないような補強をしました。

昔の姿や材料を大切にしながら、  
長塀を復旧したんだよ!

